

登録有形文化財(建造物) 見世土井家住宅主屋ほか8件の概要

登録年月日:平成27年8月4日

文化財種別:国登録有形文化財(建造物)

所在地:尾鷲市朝日町

	登録名称	見世土井家住宅主屋 (みせどいけじゅうたくしゅおく)
	年代	昭和6年
	規模等	木造二階建、瓦葺、建築面積424㎡
	説明	旧熊野街道に面する山林経営家の住宅主屋で、東西に長く、東端の玄関廻りを洋風意匠として脇に応接間を附属する。西側は和室を並べるが、数奇屋座敷の客間と夫人室を中廊下で仕切るなど時代的特徴を示す。和洋を取り入れ、細部にアールデコ意匠を取り入れた上質な近代住宅である。
	登録名称	見世土井家住宅本蔵 (みせどいけじゅうたくほんぐら)
	年代	江戸末期
	規模等	土蔵造二階建、瓦葺、建築面積59㎡
	説明	主屋の北側に建ち、鬼瓦には家紋の八つ槌車が入る。南面に戸口を設け、庇を張り出す。内部は上下階とも板壁で二室に仕切る。もとは接客や生活用の茶碗や食器類等を保管した家財蔵である。
	登録名称	見世土井家住宅蔵 (みせどいけじゅうたくくら)
	年代	大正期
	規模等	土蔵造二階建、瓦葺、建築面積34㎡
	説明	主屋の西側に近接して建ち、鬼瓦に屋号のひとつ「山吉」を飾り、軒瓦には家紋の八つ槌車を配する。東妻面に戸口を設け、庇を差出して蔵前をとる。
	登録名称	見世土井家住宅納屋 (みせどいけじゅうたくなや)
	年代	大正期
	規模等	木造平屋建、瓦葺、建築面積26㎡
	説明	蔵の西側に建ち、軒先に雨除けの雁木を設ける。南面に無双窓が設けられ室内換気が考慮されている。もとは炭部屋と呼ばれ、炭や農具等が保管された。

	<p>登録名称 見世土井家住宅米蔵 (みせどいけじゅうたくこめぐら)</p>
<p>年代 昭和前期</p>	<p>規模等 土蔵造二階建、瓦葺、建築面積89㎡</p>
<p>説明 主屋の北西側、敷地の北西端に建つ。鬼瓦に家紋の八つ槌車が飾られている。南面に戸口を設け、庇を差出して蔵前をとる。もとは上下階ともに米が保管された。</p>	
	<p>登録名称 見世土井家住宅外便所 (みせどいけじゅうたくそとべんじょ)</p>
<p>年代 昭和前期</p>	<p>規模等 木造平屋建、瓦葺、建築面積7.6㎡</p>
<p>説明 主屋の北西側、本蔵と米蔵の間に建つ。東側には戸口があり、西側には大和張の板塀を設けて、北通用門からの目隠しとする。もとは、使用人専用の便所と漬物の保管場所として使用された。</p>	
	<p>登録名称 見世土井家住宅井戸屋形 (みせどいけじゅうたくいどやかた)</p>
<p>年代 昭和前期</p>	<p>規模等 木造、瓦葺、面積10㎡</p>
<p>説明 主屋の北側、土間台所の勝手口を出た正面に建つ。上屋は柱を四方転びに建て、西側のみ北通用門等からの目隠しのため外壁板張とし、三方は吹放しとする。内部に井戸と外流しを配置する。</p>	
	<p>登録名称 見世土井家住宅正門及び塀 (みせどいけじゅうたくせいもんおよびへい)</p>
<p>年代 昭和前期</p>	<p>規模等 正門 鉄筋コンクリート造、間口2.9m 塀 鉄筋コンクリート造、総延長126m</p>
<p>説明 旧熊野街道に面する敷地東辺の南側に正門を開き、東辺、南辺、西辺の南側、北辺の東側に塀を廻らす。塀の外観は主屋洋館部分と同様の色モルタル塗粗面仕上げで、門柱と正門廻りの塀下部をスクラッチタイル貼とする。</p>	
	<p>登録名称 見世土井家住宅北通用門及び土塀 (みせどいけじゅうたくきたつうようもんおよびどべい)</p>
<p>年代 大正期</p>	<p>規模等 北通用門 木造、瓦葺、間口1.8m、袖塀及び潜り付 土塀 土塀、瓦葺、延長23m</p>
<p>説明 敷地の北辺に建つ、間口1.8mの腕木門であり、背面に控えの斜め材を立てる。屋根付の両袖塀付で、西側には潜戸が付く。門の東側には土塀が設けられ、花崗岩の石積みに屋根は棧瓦葺とし、敷地北辺の伝統的な街路景観を構成する。</p>	